

平成 20年度第 2回県立長野図書館協議会議事録

日 時 平成 21年 3月 10日 (火)
午後 1時 ~ 3時

場 所 県立長野図書館 3階第 1会議室

出席者 【県立長野図書館協議会委員】(6名)五十音順)
石坂康子、小笠原憲子、鎌倉克仁、小林いせ子、手塚英男、仲平和夫

【県立長野図書館】(12名)

山寺秀博館長、黒岩厚次長兼総務課長、宮崎貞一企画協力課長、関藤夫資料
情報課長、轟義忠係長、丸山進司資料係長、大野田雅治情報係長、町田真弓
主査、熊川久蔵主幹、内山伯子主幹、村田美幸主幹、山崎茂樹主事

1 開 会 (司会 :黒岩次長)

それでは、ただいまから、平成 20年度 第 2回県立長野図書館協議会を開催さ
せていただきます。

始めに当館館長山寺秀博からごあいさつを申し上げます。

2 館長挨拶 (山寺館長)

本日、県立長野図書館協議会を開催したところ、委員の皆様におかれましては公
私ともに大変ご多忙の中をご出席いただき誠にありがとうございます。また、委員
の皆様には日頃から県政運営につきましてそれぞれのお立場でご支援、ご協力頂
いておりますことに対しまして、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。私は当
館館長の山寺秀博と申します。よろしくお願ひ申し上げます。

委員の皆様には、今回の委員の改選に当たって委員を快くお引き受け頂きあり
がとうございます。任期は平成 20年 10月 24日から平成 22年 10月 23日までの 2
年間となっております。1年に 2回の委員会を開催します。なお、委員さんにお諮り
します事項等につきましては後ほど次長からご説明申し上げます。よろしくご指導
ご協力のほどお願ひ申し上げます。

さて、図書館を取り巻く情勢は大変厳しいものがございます。100年に 1度といわ
れる未曾有の大不況等もあり、維持管理費等は抑えられ、図書購入費については
今年度とほぼ同額を確保できたもの大変苦しい状況です。創意工夫の上、県立
図書館のふさわしい図書の確保に努めてまいる所存です。人員についても従来よ
り減らされていますし、現在、図書司書で 2名の欠員があり臨任の者で対応して
おります。毎年正規職員による補充を要求しておりますが、難しい状況です。

このように大変厳しい状況ではありますが、職員一同連携し汗をかき、利用者の
皆様から愛される図書館を目指し、また、市町村図書館、公民館図書室等からは
信頼され、頼りにされる図書館造りにまい進してまいる所存ですので、委員の皆様
のご支援・ご協力をお願ひ申し上げます。

本日は、新しい委員による第 1回目の協議会ですので、改めて当館の概要を説
明申し上げ、各お立場からの忌憚のないご意見等を頂き、議事終了後館内を視察
し、また、この 3日から立ち上がりました県下 82図書館等をネットワーク化した横断
検索システムを体験していただきます。

委員の皆様にはこれから2年間大変お世話になりますがよろしくお願い申し上げ私の挨拶といたします。

3 委員自己紹介 黒岩次長)

新しい委員の皆様による初めての協議会ですので、恐れいりますが、座ったままで結構ですが自己紹介をお願いしたいと思います。

それでは最初に石坂先生から時計回りで自己紹介をお願いします。

石坂康子委員

大豆島小学校で1年生の担任をしている石坂康子と申します。このような会議に出席するのは初めてなので私になにができるのかと今ドキドキしています。よろしくお願いいたします。

小笠原憲子委員

『NPO法人ながのこどもの城いきいきプロジェクト』の小笠原と申します。よろしくお願いいたします。私は今、法人の理事をしながら、『子ども広場 じゃんけん・ぼん』という『もんぜんぷら座』にある子育て支援施設の責任者をしています。私も石坂先生のように、この図書館協議会で私にどのようなことができるのかなと思いつながりながら来ました。子育て支援の中でいかに本に親しみを持ってもらえるかということからお話ができればよいなと思っております。よろしくお願いいたします。

鎌倉克仁委員

篠ノ井東小学校の教頭の鎌倉克仁です。よろしくお願いいたします。

私もクラスの担任を離れてしまうと子供と一緒に本をみるということが少なくなっていますので、学校全体の立場ということで、またご意見を申し上げることがあればお願いします。

小林いせ子委員

長野県 PTA親子読書推進の会会長、数年前までは長野県 PTA母親文庫と申しましたけれども、そちらの県の会長の小林いせ子でございます。よろしくお願いいたします。現在、会長をしながら読書アドバイザーというものを今やっているのですが、それとこの2年、今年までなんです支援する学校のこどもたちの本の選定審議委員もしております、今回図書館の方でどのような取組みでそちらの方までいけるかなということを楽しみにしておりますので、2年間よろしくお願いいたします。

手塚英男委員

松本の手塚と申します。私は現職中は松本の公民館、図書館、博物館などの社会教育の現場でずっと仕事をしてきました。図書館はあがたの森図書館、松本の南部図書館、それから中央図書館等で司書館長として仕事をしてきました。退職してもう10年になりますけれども、今現在、地元の松本大学松商短大部で生涯学習や司書講習等を受け持っています。よろしくお願いいたします。

仲平和夫委員

飯田市立中央図書館の仲平と申します。公共図書館部会の関係で、ここ2年程南部の飯田からこちらに通っておりますが、バスで片道4時間程かかりますから、

遠いということは実感しております。人口18万人の飯田下伊那地区からの、この利用登録は30人未満とお聞きしております。距離からして来館しての利用は、困難であることは確かであります。遠い地区の県民利用も含めた、県立図書館利用のPRについて、一緒に考えていけたらと考えています。よろしくお願ひします。

4 職員紹介 (黒岩次長)

ありがとうございました。それでは続きまして私ども県立図書館から課長の紹介をいたしますのでよろしくお願ひします。当館の名簿5ページにございますのでご覧いただければと思います。

企画協力課長	宮崎 貞一
資料情報課長	関 藤夫
次長兼総務課長	黒岩 厚

5 協議会委員任務説明 (黒岩次長)

(新委員による初会議のため、図書館法、県立長野図書館条例、県立長野図書館協議会運営規則を説明)

6 会長選出 (黒岩次長)

この協議会の会長は慣例により委員の互選により選出されることになっています。会長の選出について、委員の皆さんのご意見はありませんか。

7 提案 (仲平委員)

推薦を申し上げたいと思います。委員の経験が長いということもありますし、よくお解かりになっている手塚委員さんにお引き受けいただけたらと思います。

8 提案を受けて (黒岩次長)

ありがとうございます。仲平委員さんからご提案がありまして、手塚英男委員さんが適任ということでご提案がありましたが、何かご異議はありますか。

よろしいでしょうか。はい、ありがとうございました。ご異議がありませんでしたので手塚英男委員さんに会長をお願いしたいと思いますがよろしくお願ひします。

それでは会長席の方へお移り頂ければと思います。

会長就任直後ですが手塚英男会長さんからご挨拶をお願いしたいと思います。

9 会長挨拶 (手塚英男会長)

ただいま会長のご指名をいただきました。大変つたない会長であります。会長の役をお引き受けさせていただきます。先程山寺館長さんから話がありました様に、県立長野図書館あるいは県内市町村の図書館は現在とても厳しい状況にあります。予算、職員等大変いろいろな問題があり、でも一方では、図書館の需要は年々さかんになっています。それから図書館のない長野県内の地域の町村でも今、10に近いような町村が新しく図書館を建設したり、住民の中から図書館を創ってぐれという動きが出てきたりして、図書館は長野県民からとても強く受け止められています。その中で県立長野図書館が特に市町村の図書館に対する支援をしたり、県立長野図書館が県民への情報提供を積極的にとりくんだりする役割はとても大きなことです。この協議会は各委員のそれぞれのお立場で図書館や読書

や子育てにかかわっておられる委員の皆様から、ご意見等をいただきたいと思
います。

県立長野図書館の在り方やより良い方法を皆んなで考えていながら、少し
もこの県立長野図書館協議会の役割を果せばよいと思います。

よろしく願い致します。

10 当県立長野図書館協議会の公開について説明 (黒岩次長)

ありがとうございました。議事に入る前に、当県立長野図書館協議会の公開に
ついて確認します。

(協議会公開根拠規定に基づき、当会議の傍聴希望者を認め公開する旨につ
いて説明。また、協議会終了後は、議事録及び会議資料を長野地方事務所にあ
る行政情報コーナーに備えるとともに、当館インターネットホームページ上に議事
録を掲載する。)

【 会 議 】

11 会議事項 (手塚議長)

会議次第に基づいて協議にはいります。

本日の県立長野図書館協議会に傍聴希望者がいるかどうか確認。(手塚議長)

本日の傍聴希望者はいない旨手塚議長に報告。(黒岩次長)

それでは、会議事項に入ります。本日は会議事項 1から会議事項 6のその他まで含めて幾
つかありますけれども、最初に、図書館側から会議事項 1から会議事項 6まで説明して
いただいて、それが一通り全て終えたところで、それらをまとめて討議をしたいと思
います。

一応、午後 3時までの予定でありますので、3時には終えてその後、館内システムや横断
検索システム体験などがありますのでそちらの方に移っていきたい、そんなところ
を進めていききたいと思います。

それでは会議事項 (1)県立長野図書館の業務概要について。(2)平成 21年度予算案
について。これら2点についてご説明をお願いいたします。

12 (黒岩次長)

ありがとうございました。資料につきましてはお配りしておりますように、資料が 1から4
までございます。それから附属資料としまして 1から6までありますのでよろしく
お願いいたします。それから日程の関係で、今、会長さんからお話がありましたと
おり午後 3時までが協議会を行い、その後システムの体験に移るということ
ですが、館内システムや横断検索システムの体験を含めて終了するのが 3時
ということでは是非ともご協力をいただきたいと思いますのでお願い
いたします。

13 会議事項の説明 (黒岩次長)

県立長野図書館の業務概要について

平成 21年度予算案 について

資 料】

(1)県立長野図書館概要 (平成 20年 4月版)

(2)平成 21年度県立長野図書館の予算 (案)

- 14 会議事項の説明 (宮崎企画協力課長)
県立長野図書館の事業概要について
平成21年度主要事業 (案)について

【資料】

(3)平成21年度主要事業 (案)

- 15 会議事項の説明 (関資料情報課長)
横断検索システム及びインターネット予約貸出について
県立長野図書館の事業概要について

【資料】

(4) 県立長野図書館概要 (平成20年度4月版)

(5) 横断検索システム及びインターネット予約貸出しサービス

- 16 (手塚議長 会長))

それでは会議事項(1)から(5)までご説明いただきました。その他は何かございますか。

- 17 (黒岩次長)

資料のことで補足させていただきますが委員の皆様へ『公共図書館の概況』をお配りしております。参考にご覧いただければと思います。

附属資料5ということで県立長野図書館のメールマガジン毎月2回1日と15日に発行しております。これは、登録をしていただければそれぞれ委員さんにも発信することができます。附属資料6につきましては『図書館ながのけん』という広報誌であります。これは年1回発行しておりますので参考にして下さい。以上です。

- 18 (手塚議長)

ありがとうございました。

これから質疑に入りたいと思います。どの項目の内容についてでも結構ですので各委員さんからご質問、ご意見をお出し下さい。

- 19 (小林委員)

はい、よろしいでしょうか。

親子読書推進の会の小林でございます。

今の会議事項とは外れるんですが、多分毎年県立図書館の司書の方達は本を購入される時に創意工夫をされながら本の購入をされるというご説明がありましたが、それは、どのようなことを中心にして創意工夫を例年していらっしゃるのか、それと去年はどうだったのか。

それから今年は、平成21年度はどのようなことに焦点をおいて本をお選びになるのか、わかっている部分だけで結構ですのでお願いします。

- 20(関資料情報課長)

お答えになるかわかりませんが、資料「県立長野図書館概要」の7ページの6の図書館資料の状況の(1)に記載されている図書資料収集方針、ア.一般的な資料から専門的な資料まで幅広く収集する。また、イ.として、県民のニーズに対応できる資料を収集する。ウ.として、中立、公正な立場で偏らないような収集をする。エ.として、対立する意見がある問題については、それぞれの観点に立つ資料を収集しています。また、郷土資料については貴重ですので網羅的に収集しています。これは、19年度、20年度、21年度の収集方針の柱で基

本的な考え方でございまして、あとは、予算の増減、その時その時の選定委員会で方針を決めましてやっていきたいと思っております。

21(小林委員)

はい、ありがとうございました。選定委員の方では「これはこういう方針で。」というできれば次回の協議会で結構ですので教えていただければありがたいんですけども。

22(関資料情報課長)

わかりました。

23(小林委員)

ありがとうございます。

24(手塚議長)

それでは今のことよろしくお願いします。
いいでしょうか小林委員。

25(小林委員)

はい、結構です。

26(山寺館長)

このような時代で図書購入費が削られている話の中でできれば寄贈本の関係、よく市町村の図書館でもそうですが、私どもが一番収集しなければならない資料が郷土資料ということの中で、各市町村でも発行されているいろいろなものがあるのですけれども、従来は市町村で発行されているものの窓口は総務部 総務課だだと思いますけれども、そうすると、その総務部関係だけで「その図書館で本を求めているよ。」というだけで終わってしまうので、今年は県の教育委員会が、毎月各地へ赴いて各市町村の教育委員会と会議を設けていることを聞きましたので、是非、その場に参加して 県立長野図書館に本を提供してもらいたい。」という求めを今年、平成21年度は行っていきたいと思っています。

27(小林委員)

ありがとうございます。私もそちらの方面の本の編集にずっと携わってきたものですから、是非貴重な資料になると思いますので、この県立長野図書館の方での所蔵をよろしく願いしたいと思っています。ありがとうございます。

28(手塚議長)

小林委員さん。そちらの方面というところ、どういう本ですか。

29(小林委員)

各市町村の史誌とか、歴史ものとか、その土地独特の歴史の本とか町の本とか市の本です。

30(手塚議長)

他にいかがですか。

31(仲平委員)

小林委員さんの関連の関係でお尋ねしたいのですが、図書資料収集の方針についてはここに記載のとおりと理解させていただくのですが、例えば選書でありますとか、図書の廃棄の関係で、基準等もう少し細分化をして文章化したものは何かお持ちでしょうか。

32(関資料情報課長)

今の選定方針の関連ですが、具体的にはですが7ページの6.図書資料の状況の(1)図書資料の状況の(1)図書資料収集方針、のア～オまで、これに基づきまして、選定委員会の中で収集方針を決めます。

先程、小林委員さんのその収集方針を出してくれということなのでこの次の協議会には出したいと思います。

33(仲平委員)

わかりました。

34(手塚議長)

他にいいですか。

35(鎌倉委員)

一点教えて下さい。横断検索システムについてなのですが、私は長野市に来る前に上田市に居たんですけれども、上田市の学校では数年前から市立の図書館と学校図書館がインターネットで結ばれていまして、子供たちが学校の図書館のパソコンを利用して自分で検索して読みたい本や、学校図書館にない本を予約することができました。それでその予約した本が、市の定期的に運んでくださる職員の方によって、学校に配本されるという形で学校図書館だけではどうしても冊数が不足していますので、市立図書館から配本される読みたい本が結構子供たちに人気で、子供たちは自分が読みたい予約した本を届けてもらって読んで、またお返しするという形のシステムができていました。ところが、長野市にきましたらそういうサービスがなくて、図書館司書の先生にお願いして、本校は篠ノ井東小学校なんです長野市の南部図書館にその先生が行って自分で探して借りて来て下さるということはあったんですが、そのような学校と公立図書館とのネットワークの取り組みをしている上田市の様な市町村というのは、全県的には沢山あるのか。それとも、上田市がたまたまそのような形で進んでいて、そのようなサービスが特別行われていたのかということと、それと、これは市町村の問題で県立長野図書館の問題ではないと思うんですが、今後、このような県立長野図書館と市町村の図書館とか学校との連携のネットワーク、このような学校の図書館ともつながっているような連携の見通しというか、方向性みたいなものは、期待できるのかそのへんのことについて教えていただきたいと思います。

36(関資料情報課長)

横断検索につきましては、特に今まで全国的に見たとき、長野県がとても遅れていたということも一つあるんですが、なんとかここまでこれ、必死になってやってきました。全県的にはいずれこの図書館も教育委員会ですし学校も教育委員会ですし、ゆくゆくは期待できるかもしれないが、今の段階では難しいと思われま。

37(鎌倉委員)

ありがとうございました。

38(手塚議長)

県内で公共図書館、その地区の学校図書館、いまの話のようなシステムでやられている例はありますか。

39(小林委員)

私は千曲市なんですが、千曲市は長野県内で一番最初にそのような方式をとりまして、図書館と学校の図書館が連携していて、いつも本を配達する車が一日中走り回っている状況です。

40(鎌倉委員)

市町村によってだいぶ差があるんですね。

41(小林委員)

学校と公共図書館の連携を設定するのに時間やお金がかかるということがあります。千曲市は県内で一番初めでしたので見学者がとても多かったです。

42(宮崎企画協力課長)

小学校、中学校、高等学校に対して相互貸借というシステムがございまして、学校司書、司書教諭をつうじて県立図書館の本を借りるということはできます。後は巡回の物流、長野県以外の他県ですと1週間に1度ぐらいで巡回している県があります。

当県の横断検索システムが導入されたのは、全国で上から45番目ですから、あの、まだまだこれからだと思いますし、お金がかかるのが実情だと思います。

43(黒岩次長)

附属資料4, ちょっと厚めの資料でございますが、平成20年度長野県公共図書館概況という資料がありまして、その9ページのところに、委員の先生からもでしたが巡回車について記載がありますのでご覧いただきますようお願いいたします。

44(石坂委員)

要望なんですが、インターネット予約貸出システム、長野市の本の受取館が県立長野図書館、ここだけになっているんですけども、市によっては安曇野市のように全ての館で受取りが可能になっている市もあるそうですが、長野市の図書館全部が本の受取りが可能になっていると流通の面で利便性が高いですが、現在の様に県立図書館のみでの受取りでは、実際には職員がとりに行くということになりますと長野市内でも遠いところの利用者には、利用時間内に取りに行くことが大変難しかったりもしますし、できるならば、長野市内の全部の図書館で受取りができるようにしていただければ大変便利だと思います。

45(関資料情報課長)

はい。今のはご要望だと思いますが、私どももいろいろ検討しましたけれども、この図書館と長野市の図書館との真ん中辺にいる人はどうするのかという話もありまして、ですから、とにかくこの制度のしくみは、県立長野図書館の本を遠隔地の人々により都合よく使ってもらおうという考え方からですので、長野市の人達は、そうはいつでも県立長野図書館のそばにいらっしゃるので、それで、取置きしますので都合のいいときに取りに来てもらうようにしています。基本的には飯田とか松本とかなかなか県立図書館まで取りに来れない県民がいますので、そういう人達の利便性の向上を図るという考えですのでご理解いただきたいと思います。

す。

46(石坂委員)

ということは希望はないということですか。やっぱり予算的なものですか。やっぱり仕事をし
てますと、私は実家が篠ノ井の方なんです、篠ノ井の方からここまで来るとなると仕事を終
えてから来る場合、時間内に来れるかどうか分からないこともあるし、市の学校図書館に来て
下さる、長野市の場合の司書補というか図書館事務をやっている先生は予算が無いもの
ですから1日4時間ぐらいしか学校にいられないので放課後はほとんどいないし、そうすると
授業時間に取りに来るといっても、学校図書館の方ができないので、結局、普通の教員ばか
りに勤務時間外に取りに行くというのは大変厳しいので本当に来れないことではないんだけ
れどもそういうところで利用しやすく先程の上田市の例の様に物流ができないならば受取り
館を増やすなどの努力をしてもらいたいと思います。

47(宮崎企画協力課長)

先程、お話し申し上げましたように、相互貸借という制度がございますので、例えば市の東
小学校でしたら、南部図書館に行って相互貸借を申し込んでいただいて、送料の負担につい
てはこちら県の側で負担しますのでそのような図書の借り方もあります。県内学校でも利用し
ている図書館はたくさんあります。

48(石坂委員)

それは、インターネットで検索したものをさらにということですか。

49(山寺館長)

インターネットで検索して学校で借りたい本が何冊かあるというものについては、最寄の篠
ノ井の南部図書館の方にこういう本を相互貸借で借りて欲しい旨を申込みいただければ、篠
ノ井の南部図書館と私どもの県立長野図書館で相互に手続きをとり、希望する本を貸出して
送ることができます。

50(石坂委員)

2つの手続きをとればいいということですね。
相互貸借とそれから横断検索と両方つかう

51(山寺館長)

横断検索で調べて、県立にどうしても借りたい本があるという場合は、県立の本を取り寄
せて下さい。」と篠ノ井の南部図書館の方に申し込めば、篠ノ井の南部図書館が所定の手続
きをとって取り寄せることができます。

52(手塚議長)

それならば、長野市立図書館は受取り館対象外ということですか。

53(山寺館長)

これはあくまでも個人の申し込みの場合です。インターネットで個人が予約して、あくまでも
インターネット予約は予約で、インターネットによる貸出は遠隔地の皆さんに、うちの県立図
書館をおおいに利用してもらいたいという中で、飯田であるとか松本であるとか、そういう遠く
の人達について、「うちの県立図書館の本を最寄の図書館まで送りますからそちらの方に取
りに来て下さい。」という事で遠方の方に本を届けます。長野市内につきましては、大変申し

訳けありませんがここまで(うちの県立長野図書館まで)とりに来てもらいたいということで、長野市内の人達については予約のみ受け付けるということです。貸出については、長野市以外の遠隔地の皆さんに無料の相互貸借の制度をつかって、最寄の図書館まで送り、「その本を取りに来ていただければ無料で利用できますよ。」ということで、そのような趣旨で始めました。

54(手塚議長)

今の場合は、この図でいえばこの県立図書館の本の貸出しについてですね。

55(山寺館長)

はい。そうです。

56(手塚議長)

こっちの方は、いづれにしる横断検索システムで検索したらA市の図書館に貸出を希望する図書があることがわかったと。本人が、最寄の図書館にA市の館の所蔵の図書を借りたい旨話をして取り寄してもらうように申し出るわけですね。

57(山寺館長)

はい。そうです。

58(手塚議長)

取り寄してもらってその図書館に借りに行く

59(山寺館長)

それが相互貸借制度です。

60(手塚議長)

それは長野市のどの図書館でもいいということです。けれども、こっちの県立図書館の方はあくまでも県立図書館に借りにこなければならぬんですね。

61(山寺館長)

長野市内の皆さんは申し訳ないんですがここまで取りに来ていただくということです。ただ小中の学校とかについては、相互貸借制度で最寄の長野市立図書館や篠ノ井の南部図書館には相互貸借制度にのれば当館から送りますということです。

62(手塚議長)

県立図書館のこの本を借りたいというときは長野市の南部図書館に申し出て借りてもらうという方式なんですね。

63(山寺館長)

相互貸借で学校で借りたいということになれば、はい。

64(手塚議長)

それはいままでと同じですね。ただ、どの図書館にどのような本があるかということを知っているということですね

65(山寺館長)

はい。そうです。いままでと同じです。

66(宮崎企画協力課長)

探している本を見つけるに、簡単かつ時間短縮して見つけることができます。

67(小笠原委員)

ホームページを見させて頂いて、すごく充実していて、誰にもわかりやすくていいなと思いました。

メールマガジンについては、私のやり方が悪かったのか、登録がうまくできませんでした。もう少し簡単につながる方が望ましいのではないのでしょうか？

それと、長野市に生まれた我が家の子供たちは、現在県内を転勤していますが、市立図書館も県立図書館も近くにあったというようなことを言っています。図書館がない市町村がありますが、特に栄村などを見ますと、公民館には相互貸借で本がいますが、公民館まで持ちに行かなければなりません。雪が降る時期などはかなり大変ではないかと思えます。公民館へ本が届くということは、まとめて何冊かが同時に届くようなシステムになっているのですか？それとも頼んだその都度公民館に本が届くようでしたら、個人の所へ直接配達しても同じかなと思うのですが。予算的なこともあるとは思いますが。

68(山寺館長)

あくまでも個人の場合は、本人がどうしても家へ送ってもらいたいという話しになると、有償で自己負担という形になります。

69(小笠原委員)

そういうことは可能ですか。

70(山寺館長)

はい。それはやっています。

だから個人が早く、一刻も早く借りたいと、是非自宅へ届けて欲しいという話になれば、そのようなケースは今でもやっていますが、有償で送るようになります。

71(関資料情報課長)

今の話はですね、県立長野図書館概要(平成20年4月)の12ページの(2)の資料貸出状況のところには数は少ないんですけど、表の下に記載されている、宅配による貸出し：13件38冊が有償での貸出の状況です。いずれにしても1回の貸出の冊数は5冊以内ということで行っています。

72(小笠原委員)

それと、県立図書館概要(平成20年4月)の12ページの利用状況のところの(2)資料貸出状況のところの児童図書の絵本が40,000冊というのは児童図書貸出総数の半分以上が絵本ということですが、これはここの県立図書館での絵本の貸出の成果、実績ですか。

73(関資料情報課長)

この実績は当館、県立長野図書館の実績です。

どうしても絵本の場合、子供さんが1人、2人、3人といらっしゃる1人につき5冊まで貸出

できるので、3人子供さんがいらっしやると 15冊貸出することになりますので、どうしても貸出冊数も多くなります。

74(小笠原委員)

はい。わかりました。

蔵書状況をちょうど検索していた時に、紙芝居や大型絵本等の貸出がありました。うちの広場(長野市『もんぜんぷら座』にある『子ども広場 じゃん・けん・ぽん』)でも本をいろいろと寄付していただいて、揃えているんですが、なかなか大型絵本とか紙芝居が買えませんので、是非これから利用させて頂きたいと思います。

75(小林委員)

ちょっと話が戻るのですが、図書選定審議委員という方たちの、絵本とか本を選ぶ基準みたいなものなんですけれども、そちらの方は私の方で先ほど、あったら文章化していただきたいとお願いしたんですけれども、絵本というのは他の本とは違うと思うのですが、私は絵本を良く使うものとして、絵本を選ぶ目線というものを、できれば教えていただきたいと思います。というのは各図書館におきまして、買う絵本がそれぞれ違うのです。それはどこの市町村でも同じだと思うんですけれども、どこの部分を絵本を買う場合の選定基準にしているか、とても私も絵本を扱うものとして興味があるんですけれども、そういったことはおわかりになりますか。

76(手塚議長)

その件につきましては、それでは次回の協議会でお示めいただくということでよいでしょうか。

77(小林委員)

結構です。

78(手塚議長)

県立長野図書館の場合、10人の職員が週に1回集って本の選書を行っているというお話でしたけれども。

79(小林委員)

職員の方なんですか。

80(手塚議長)

そうです。審議会ではなくて、職員がやっています。その時に、絵本がどういう基準で選んでいるのかということを示していただきたいということですね。

81(手塚議長)

私の意見になりますけれども、横断検索とインターネット予約貸出は始まったばかりで、ほとんど私はなんとも言えませんけれども、インターネットで予約ができるというシステムは市町村職員は予約がパート増えているという現状があるんですね。これももしかしたら年々広がって増えることもあると思いますけれども、その場合に物流というかこのシステムだと今までの相互貸借のシステムの上でやっているから、例えば、郵送料は本を貸出す方が負担するというシステムですよね。そうすると、あのシステムは新しく本物の物流がいままでシステムでやっているとしたらそこそこがでてくるような気がするんですが、これにあわせて利用が

増えてきた場合には、物流をどうすればいいかということが大きな課題になって来ると思います。また、それについてもこれの利用状況を見ながら新しい課題だと思しますので検討していただきたいと思えます。

それから、先程、上田市や千曲市やなんかで、各学校図書館にもインターネットがきて、そこで、上田市なら上田市の図書館の本、千曲市なら千曲市の図書館の本が検索できて、そしてこの本を学校で借りたいといえば公共図書館から運んでくるシステムがあるということですよ。

82(小林委員)

各学校ごとにもネットワークで結んでいるということです。

83(手塚議長)

私は富士見町でそういうシステムがあると聞いていますけれども、多分、市町村立の図書館と学校の図書館をいまのようにインターネットでつないで、本のやりとりをきちんとやっているところはそう多くはないと思えます。各学校にインターネットの端末はまだ設置していないと思うが、お金のかかることだと思えますけれども、そのへんの全体的調査を是非していただけないでしょうか。公共図書館と学校を結ぶシステムがどうなっているかということですが。

今日の質疑に関連して意見を言わせていただくと、この前、阿智村に用事があって行った時に、あそこの図書室を覗いてきたんですが、今日の資料の中にありましたけれども、あの施設はもう立派な図書館なんですよ。本が何万冊かあって、年間400万円という図書購入費で職員3人ぐらいいるんですよ。常勤の職員で、何かあの建物を建てたときの補助金の関係で図書館にできないということのようです。

資料を見ると、そういうことはあまりネックにならないと書いてありましたので、是非村長さんが図書館にするとすればもうそれでいいと思えますので、そんな話し合いを是非、県立長野図書館の側から定期的にしていただきたいと思えます。

84(手塚議長)

他にいかがでしょうか。

85(仲平委員)

一点お聞きしたいんですが、「資料2」の予算関係なんですが、事業費の中に「相互貸借郵送料」というのがあります。相互貸借の場合、それこそ送料の半分は、こちらの県立長野図書館で負担していただいているので市町村はかなり助かっていると思えます。ただ、この中に今度新しく設けられました「インターネット予約貸出サービス」の、郵送料的なものも当然含まれるとなるともっと経費がかかるという話しになるかと思えます。これについても半分の負担を県立図書館で今現在して下さっているんですが、この考え方で「受益者負担」という考え方がこれから自治体の財政が厳しい折には当然でもいい話だと思うんですが、それについて何か考えをお持ちであればお聞きしたいのですが。

86(山寺館長)

はい。今のところこの予算の中で十分泳げるのではないかと考えています。それから、インターネット予約がものすごく利用を生んだ場合には、将来、また予算を増やすのか、それとも受益者負担等で対応するのか、そこら辺はまた検討しなければならない状況ですけれども、いずれにしろ現在のところはインターネット予約貸出を立ち上げたところで、もうしばらく推移を見て、それからいろいろ問題点があれば一つ一つ解消していかなければならないということで、今のところはそんなに爆発的には利用が増えるという風には考えておりません。ですか

らしばらくこの予算の中で様子を見ながらやっていきたいと考えております。

87(手塚議長)

それでは、時間の関係もありますので、今日の県立長野図書館協議会の協議を終了させていただきたいと思っております。

これで今日の協議会の議長を退任させていただきたいと思っております。ご協力ありがとうございました。

88(黒岩次長)

手塚議長さんありがとうございました。

委員の皆さんからは大変貴重なご意見、ご要望を頂戴したわけではあります但し本当にありがとうございました。今後の業務に生かしていきたいと思っております。

以上をもちまして平成20年度第2回県立長野図書館協議会を閉会とさせていただきます。大変ありがとうございました。

なお、平成21年度第1回県立長野図書館協議会は今年の秋頃開催したいと思っております。委員の皆さん大変お忙しいとは思いますが、日程等こちらでお伺いいたしながら決めさせていただきたいと思っておりますので、その節はご協力をお願いいたします。

最後になりますけれども、この後、最初にご案内したとおり館内を職員が案内をいたしますのでご覧いただきたいと思っております。最後に2階の一般図書室で横断検索を実際に委員の皆様体験していただくという時間をとりたいと思っておりますので、もし委員の先生方お忙しい中、3時を回ってしまうかもしれませんが、お時間のある方は、ご参加いただきたいと思っております。なお、終わり次第流れ解散とさせていただきますのでよろしくお願い申し上げます。本日は大変長時間に亘ってありがとうございました。